

子育て家庭の安心のために！

講演会「小さな命を救いたい…新生児医療の現場から」 を開催します。

横浜市では、小児科の適正受診を進めながら、子育て家庭の安心のために市民自らが地域医療を支える風土を醸成させることを目指しています。

そこで、南区では、区内にある「神奈川県立こども医療センター」の医療現場で働く、医療スタッフの活動を紹介する講演会を開催します。高度小児医療で全国的にも有名な病院で「小さな命」を守るために日々努力している現状を知り、医療への適正受診の必要性を区民の皆様にお伝えしていきます。

■ 講師紹介

とよしま かつあき
豊島 勝昭 医師

現：神奈川県立こども医療センター 周産期医療部新生児科医長
平成6年新潟大学を卒業。専門は新生児学、周産期新生児循環学。現在までに低出生体重児300名（超低出生体重児100名）の診療を担当。

神奈川県職員提案事業制度に応募し、21年度から新生児医療に携わる小児科医の臨床支援プログラムを実施。全国から新生児医療に携わる医師を受け入れることにより、将来の医師の確保に繋げるとともに、全国的な視点においても、新生児医療に携わる医師の育成を図っている。



平成22年9月、NICU（新生児集中治療室）患者家族だった横浜ベイスターズ村田修一選手の手記『がんばれ!! 小さな命たちよー村田修一選手と関哉くんと41ヵ月』（TBSサービス）の出版に協力

- 日時：平成23年2月4日(金)午後2時～4時（受付13時30分）
- 会場：吉野町市民プラザ ホール（横浜市南区吉野町5-26）
- 定員：200名
- 受講無料
- 申込方法：平成23年1月11日(火)午前9時から電話でお申込みください。
（定員になり次第受付終了）
- 保育：別室にて保育を行います。対象：1歳以上～未就学児まで20名程度
- 申込・お問合せ：南区福祉保健センター こども家庭支援課
Tel（045）-743-8251

別添のチラシもご覧ください。

お問い合わせ先

南区こども家庭支援課長 比嘉 規之 Tel 045-743-8248

小さな命を救いたい。。。 新生児医療の現場から

日時 平成23年2月4日(金) 午後2時～4時
会場 吉野町市民プラザ(横浜市南区吉野町5-26)

南区にある「神奈川県立こども医療センター」で、
日々小さな命と向き合い、奮闘するスタッフたち。
身近でありながら、意外と知らないことの多い高度小児医療の現状を知り、
命を守ることの大切さについて、
最前線に立つ医師と一緒に考えてみませんか。

～こども医療センターに受診中のお母さんより～

妊娠27週での緊急帝王切開という急な出来事で出産し、不安と戸惑いでいっぱいなのに、豊島先生は丁寧に我が子の今の状態、そしてこれから起こりうる危険性などお話してくれました。「ここでは、医療だけをしていればいい場所ではない。お母さん、お父さん、医者それぞれができる事をしていきましょう。お子さんに声をかけて励ましてください。」・・・ここで働くスタッフの方が、私達家族の絆を深めてくれました。「今ある可能性を信じていこう！」と思うことができたのも、先生や看護師さんのおかげと感謝しています。(K)

【講師】豊島 勝昭 医師

現：神奈川県立こども医療センター・周産期医療部新生児科医長 日本小児科学会専門医
平成6年新潟大学を卒業。現在までに低出生体重児300名(超低出生体重児100名)の診療を担当。神奈川県職員提案事業制度に応募し、21年度から新生児医療に携わる小児科医の臨床支援プログラムを実施し、新生児医療に携わる医師の育成を図っている。

平成22年9月、NICU患者家族だった横浜ベイスターズ村田修一選手の手記『がんばれ!! 小さな生命たちよー村田修一選手と関哉くんとの41ヵ月』(TBSサービス)の出版に協力。



- 【定員】 200名(電話先着順)
【申込期間】 平成23年1月11日(火) 午前9時から定員になり次第申し込み終了。
【申込方法】 お電話で南区福祉保健センターこども家庭支援課へお申し込みください。
【保育】 別室にて保育を行います。
対象：1歳～未就学児まで20名程度(電話先着順)
【問合せ】 南区福祉保健センター こども家庭支援課 TEL (045) 743-8251